

①

(昭和33年9月10日第3種郵便物認可)

1部 9円

【毎月2回・1日・15日発行】

広報



ごよがわら

発行所

五所川原市役所

452号

昭和54年8月1日

印刷 西北印刷

市の人口
52,668人

男 25,538人
女 27,130人

世帯数 14,428

(昭和54年7月1日現在) 住民基本台帳から



栄
小
六
年
中
谷
美
樹

暮らしの源

8月1日(水の日)~7日 水の週間

節水型社会をめざして

「水の使用量は、文明の尺度」といわれた時代がありました。

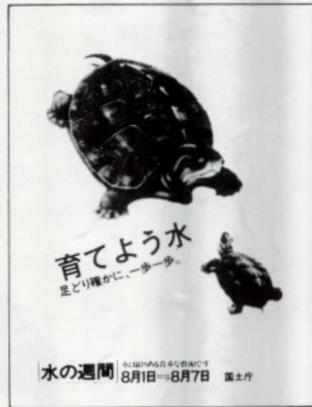
生活水準が向上し、産業が盛んになるにつれて、水の使用量もぐんぐん増えることから、このようにいわれたのです。

ところが今では「この文明の尺度」も通用しなくなってきました。というのも、もはや水は「いくらあ

八月一日は「水の日」。この日から一週間は「水の週間」です。

わたしたちの水使用量は、生活用水、工業用水を中心に年々増え続けています。この増大する水需要をまかなうためには、今後とも、ダムによる水資源の開発を進めていかなければなりません。そのためには、ダム建設によって大きな影響を受ける水没地域やその周辺の人々の理解と協力が不可欠です。同時に、ダムの「恩恵」を受けける下流の人々の、上流の水源地域に対する感謝の気持ちが必要でしょう。多くの人々の力、多額の資金、長い歳月をかけてつくられた水。わた

したちの暮らしに一日たりとも欠かせない水。大切に
使いましよ



た水。わたしたちの暮らしに一日たりとも欠かせない水。大切に使いましよ

もあって、いつでも好きなだけ使えるもの」ではなく、なってきたからです。

お金などの浪費をたどえて、湯水のように使う、と

いいです。このたとえは、水が無尽蔵にあった時代にはできたのですが、いまでは「死語」同然になりつつあるといつてよいでしょう。

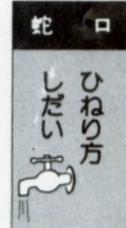
これからは「水をどのよ

うに工夫して大切に使用しているか」が、新しい「文明の尺度」となる時代です。

昔から、豊富な水に恵まれてきたわたしたち日本人は、水をムダなく上手に使う節水の知恵「工夫を、ややもすると怠ってきたのではないでしょうか。

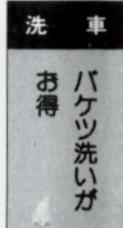
これからは「水は限りある貴重な資源」という考え方に立って、いま一度、水の使い方を工夫してみる必要があるです。

節水の工夫



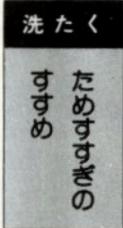
蛇口から出る水の量は、一分間に、ちよつとひねつ

て(三分の一)約五リットル、いっぱいひねると約二十五リットルにもなります。その差二十リットル——の節水は、あなたの使い方次第です。炊事など流しっぱなしで使うときは、蛇口のひねり具合を調節しましょう。



十リットルのバケツなら五杯もあれば十分ですが、蛇口を半分ひねって十五分間流しっぱなしで洗ったとしますと、約二百リットルの水が必要です。

一週間に一度、月四回洗車するとして、バケツ洗いの場合、ホース洗いに比べて約六百リットルの節水になります。



家庭で使う水の中で、一番多いのは洗たく用です。洗たくもすぎ方しだいで水の使用量がずいぶん違ってきますので、工夫してみましょう。



すぎの時間や回数にもよりますが、おおよそ、流しっぱなしのすぎに比べて、水をためての「ためすぎ」の方が、水の使用量は半分ですみます。

節約は 日本の課題
我が家の課題

夏の水死事故をなくしましょう

毎年、夏にはたくさんの方が水死しています。昨年は、七月、八月の二カ月間で三十二人(うち、中学生以下の子供十七人)が水の犠牲になっています。今年の水の犠牲者を出さないよう次のことを守って下さい。

◎水死事故をなくするために

- 1 幼児から目を離さないようにして下さい。
- 2 保護者は、子供の遊びの内容、場所をよく知り、適切な指導をして下さい。
- 3 水泳、ボート遊び、魚釣りには、絶対子供を一人で行かせないで下さい。
- 4 水泳をする前には、必ず十分な準備運動をさせて下さい。
- 5 体具合の悪いときは泳がせないで下さい。
- 6 家の周りの危険な池や用水堰には、柵を作り、ふたをし、バラ線を張るようにして下さい。



危険な場所で遊んでいたりと、泳いでいる子供を見かけたら、ためらわず

『危ないよ』と、

ひと声注意して下さい。

青森県警察本部
五所川原警察署



市制施行25周年記念

□とき 八月二十六日
(日) 開場午前十一時、
開演午後零時
十五分
□ところ
市民体育館

NHKのど自慢

□ゲスト 角川博、研 ナオコ
観覧希望
□締切り 八月十一日
ど自慢係(☎〇一七七④)
〇一一番へ

□申込み 往復はがき
□申込み先 青森市栄町一〇一〇一三(郵便番号〇三〇)
NHK青森放送局NHKのど自慢係(☎〇一七七④)

地元産品をあつめて

第三回西北五物産観光展

- とき 八月十四日〜十六日 午前九時から午後五時半まで
- ところ 柏原町丸キデパオト
- 即売品 銘菓・海産物・山菜・食品・地酒・民芸品など
- アトラクション 津軽民謡(午前十一時・午後二時の二回)
- 実演 津軽ヒバ表札の名入れ
- 試食会 津軽ワイン

主催・西北五物産観光展運営協議会
(各市町村加盟)

『特別弔慰金など改善』

戦傷病者、戦没者遺族に対し

このたび戦傷病者や戦没者遺族等援護法・特別弔慰金支給法などが次のとおり一部改正になりました。

- 1 障害年金、遺族年金及び遺族給与金の額が昭和54年4月から3.96パーセント増額され、6月からさらに増額されることになりました。
- 2 戦没者の死亡当時に配偶者が昭和21年2月1日から昭和27年4月29日までの間に再婚し、昭和28年7月31日までに再婚を解消している方で、昭和42年以後の遺族援護法で戦没者の遺族となった場合は、遺族年金または遺族給与金が支給されることになりました。
- 3 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金が次により新たに支給されることになりました。支給額は12万円を国債で支給されます。
(1)昭和50年4月1日から昭和54年3月31日までの間に公務扶助料、遺族年金等の受給権を死亡などで失権した場合。
(2)戦没者が旧陸海軍部内の判任文官等で、文官の公務扶助料を受給していた者がいなくなった方。
- 4 昭和48年4月2日から昭和54年4月1日までの間に戦傷病者の妻となった方に、特別給付金(5万円または2万5千円)が支給されることになりました。

以上は、改正された主な事項ですが、詳しいことは、市・市民課(☎⑤2111番・内線275番)または県障害福祉課へお問い合わせ下さい。

野草の花だより

(八月上旬)~(八月中旬)

▽カセンソウ(キク科)。日あたりのよい原野などに生える多年草です。高さ七十センチばかりで直立し、先にヒマワリを小さくした感じの美しい黄花をつけます。花の姿がとても美しいところから「歌仙草」と

▽ヤブカンゾウ(ユリ科)。津軽では「カンナ」、
「ケンゾウ」と呼んでいて、若芽を食用にしています。田のあぜ、道端の藪の中にダイダイ色の花をつけ目立っています。和名は「葦カヤ草」でヤブに生えているところに由来します。背丈一メートルぐらいの多年草です。
(津軽 フラワーセンター)

提出をお忘れなく

八月は福祉年金の受給者が、年金証書を市に提出する月です。

福祉年金(国民年金)証書

福祉年金は、一定の額以上の所得があったり、ほかの年金を受けていたりすると支給を停止されたりすることがあります。この調査のため毎年一回

受けている方は申し出てもらうことになっています。この手続きをすることで、向こう一年間の福祉年金が受けられるかどうかが決ま

ります。もし、提出が遅れますと十二月支給分の福祉年金が受けられなくなります。八月分の福祉年金を受けとったら、直ちに証書を市社会課国民年金係が各支所へ提出して下さい。



恵まれない人々に愛の手を

市老人クラブ連合会 1円玉献金運動

市老人クラブ連合会(葛西専造会長)では、恵まれない人々に愛の手を差しのべようと、七月一日から「一

円玉献金運動」を展開しています。一般の方もご協力下さい。「一円玉献金運動」は、単位老人クラブごとに実施各クラブ班長を通して会長がとりまとめることになっています。運動は、九月三十日まで行われます。

なお、運動についてのお問い合わせは、市福祉事務所福祉係(☎⑤二二二番・内線二〇番)へ

「移動健康教室」を開催

血圧測定も行います

市、五所川原市民保健協議会及び北五医師会では、健康づくり推進事業の一環として次の日程で「移動健

康教室」を開きます。多数のご聴講をお待ちしています。地区別の日程は左記のと

おりです。当日は、健康相談及び血圧測定も行います。

月日	曜日	地区名	テーマ	場所	時間
8.9	木	藻川	高血圧はこわくない	藻川公民館	午後1時
8.17	金	みどり町	赤ちゃんの発熱とひきつけ	コミュニティセンター栄	午後6時
8.27	月	長橋	腰痛及び神経痛について	長橋支所	午後6時
8.30	木	松島	胃腸疾患について	松島支所	午後1時
9.4	火	新宮団地	赤ちゃんの発疹(伝染性のもの)	新宮団地森の家	午後6時
10.8	月	飯詰	脾臓の病気	飯詰支所	午後6時
11.7	木	川山	胃腸疾患について	中川支所	午後6時
11.12	月	毘沙門	高血圧を防ぐには	毘沙門小学校	午後1時

成人式は十九日です

昭和三十四年生まれが対象

市では、五十四年度の成人式を次の日程で行います。今年度の対象者は、昭和三十四年に生まれた方です。席して下さい。

□とき 八月十九日(日) 午後一時から

□ところ 市民文化会館

該当する方に通知状を差し上げておりますが、通知もれなどがありましたら市教育委員会社会教育課(☎④三一九二番)へご連絡下さい。

発刊書をご希望の方へ

市教育委員会発刊書の残部がありますので、ご希望の方は申し込んで下さい。申し込み順です。

部) □価格 千五百円(郵送料三百円) □申込み先 五所川原市岩木町二(二)郵

「五所川原市史年表」(二百五十部) □価格 千二百円(郵送料六百円)

便番号〇三七)、市教育委員会社会教育課(☎④三一九二番)

「五所川原市の民家」(百

下痢でお困まりの方へ

みんなの健康教室

医師会と家庭を結ぶ、「みんなの健康教室」が次の日程で開かれます。今回のテーマは、「下痢」についてです。

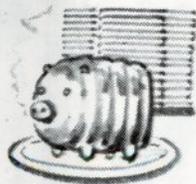
□とき 八月二十四日 (金) 午後一時から □ところ 産経会館五階ホール 主催 北五医師会・五所川原市民保健協議会



三橋さんが

古文書を寄贈

湊・千鳥の三橋敬蔵さんはこのほど、歴史研究資料として貴重な知行帳などの古文書八点を市立郷土館に寄贈しました。



個人事業税の納期限は、

8月31日(第一期分)です

納税貯蓄組合員は、組合を通じて納めて下さい。



交通災害共済加入の おすすめ

交通災害共済加入については、市広報及び回覧板、各町内会長さんを通じ加入くださるようお願いしておりましたが、6月末現在で小・中学校の生徒加入者が6,390人、一般加入の方が7,550人で加入率28%と県内各市町村に比べ下位の加入率です。

交通災害共済は、1年の会費350円で、加入の日から明年3月31日まで共済期間があります。

交通災害共済は、万一交通事故で死亡した場合70万円の弔慰金が支払われます。

治療日数10日未満でも見舞金が支払いされる制度になっております。

お申し込みは、市社会課及び各支所で受け付けております。

県の合同庁舎が完成

七つの出先機関が業務

市内栄町に建設していた県の合同庁舎が完成し、各出先機関の引っ越しも終わって七月なかばから新庁舎で業務が行われています。合同庁舎は、五所川原警察署庁舎西隣り二万一千四百平方メートルの敷地に、五十二年六月から総工費十一億八千万円を投じて着工していたものです。完成した新庁舎は、鉄筋

コンクリート三階建てで、延べ床面積は約四千五百七平方メートル。屋上には、防炎用無線アンテナ、身障者が気軽に入れる設備もあります。

新庁舎の一階には、「五所川原県税事務所」、「五所川原出納事務所」、「二階には、「北地方農林事務所」、「西北教育事務所」、「西北地方福祉事務所」、三階には、「五所川原土木事務所」。

新庁舎の一階には、「五所川原県税事務所」、「五所川原出納事務所」、「二階には、「北地方農林事務所」、「西北教育事務所」、「西北地方福祉事務所」、三階には、「五所川原土木事務所」。

は食堂や売店、また庁舎後ろ側には公用車や重車両を格納する鉄骨造りの車庫三棟が建てられています。来庁者のために庁舎前には、車二百五十台が収容できる駐車スペースもあります。

せまい道 大きく広げる ゆずりあい

原動機付き自転車

死亡事故が増えています

全身で風を切って走る—この快適さはバイクならでは



はのもので、50CC以下の原動機付き自転車の人気は高く、保有台数も全国で約七百万台と全バイクの七割以上を占め、最近では女性ライダーの増加が目立ちます。ところが、こうしたバイク人気とともに増えているのが交通

事故です。交通事故全体の死者数は、昭和四十五年をピークに減ってきていますが、原動機付き自転車による死者数は、毎年わずかずつながら増え続けています。原動機付き自転車は、女性も手軽に乗れる半面、四輪車と違って全身が常に外部にさらされていますので、ひとたび事故を起こすと取り返しのつかない事態を招くことが多いのです。原動機付き自転車を利用しているみなさん、運転には十分注意して下さい。

郵便局のゆうゆうローン 貸付限度額が七〇万円に

郵便局のゆうゆうローンは、定額貯金などを担保とする郵便貯金の預金者貸付制度で、ご利用いただける額は、担保になる貯金額の九〇%以内で、さる六月一日から一人最高七〇万円まで引き上げられました。

貸付利率は、返済時における定額貯金の利率プラス〇・二五%で、貸付期間は六カ月以内となっています。(五所川原郵便局)

毘沙門簡易郵便局が新築・移転

移転先は、現在地から二

百ほど長富よりの市役所毘沙門支所の隣りになります。局舎の移転により、市役所支所、市農協支所等公共機関が集まることとなり、地域住民にご利用いただけることと思います。

新局舎での業務は、七月二十三日から始めております。毘沙門簡易局では郵便、為替貯金の業務を扱っております。(五所川原郵便局)

広報紙の早期配布にご協力下さい